

畑日記

秋葉 健太

通信の記事はパソコンの前に座ってから「何を書こうかしらん」と、毎度のことのように文字を打ち込む手を止めてしまうのですが、今月は比較的话题が豊富です。

まず、花苗を育てているハウスのビニールを数年ぶりに新しいビニールに張り替えました。いや～、大変でした。張り替えの際には、ハウスの端からビニールを広げるために一人がハウスのてっぺんに立って行のですが、当日は風が強く、気を抜くとビニールははためき、私は落ちそうになり・・・と怖いなんの。高いところの作業なのだから、風が強い日にやらなければいいのに、な

どともっともなツッコミも聞こえてきそうですが、10月は晴れの日が少なかったので、仕方なかったんですよ(^_^)；

なので、普段は各メンバーがそれぞれの仕事を分担するところ、その日はハウスの貼り替えという数年に1回の1大イベント

を皆で行いました。工程としては、私がつてっぺんに立ってビニールを広げ、風ではためかないようにハウスの両側に奥さんや今井さんなどがビニールを抑え、均

等に広がったところで仮止め。その後、ビニールを止めるバンドの紐を片側から勝さんが私にパスし、その紐を今度は反対側にいる安部さんや久保さんにパスして縛ってもらう。省略したところもありますが、大体こんな流れです。風が強いので、紐を渡すのも一苦勞でしたが、作業も半分くらい終わったころには桑原さんの紐渡しの技術が向上し、作業ペースも上がりました。縛るのは今井さんや久保さんがうまかったですね。他は少し緩いところもありましたが「問題なさそうだから、まあいいか!」と思っていたら、これが後々痛い目を見ることになりました。そう、台風21号です。台風が直撃している最中は何ともなかったのですが、過ぎ去った後の強風でバンドの紐が解け、強風にあおられたビニールがバツバツと大きな音を立てるわけですよ。こりゃ、いかんというわけで張り替えた時よりもさらに強風の中、またハウスのてっぺんに登って直すことになりました。なまら怖かったです。(なぜか急に北海道弁?! 「とても」のことです)

そうして、ビニールの張り替えを皆で頑張り、ハウスの中は凄く明るくなり、花たちにたっぷり日差しが届くようになりました。また、今時分になりますと、冬の花苗も大分出そろってきて、晴れの日ハウスは凄く賑やかで、気分も何となく明るくなります。先日、安部さんと本多さんが花ガラ摘みをして、その横で私も少し摘んで「しばらく、こうして何人かで花ガラ摘んでなかったな」とつぶやき、「そうね」と安部さん。花が多いということは、これから日々の手入れが忙しくなっていきますが、畑仕事は花が一杯な方がやっぱり楽しいですね。

北遼育センターでの、今年の草抜きの仕事も10月に終え、11月にはいつもの公園の植え込みや、各所の花壇の植え込み。そうそう、作業所のお祭りも間近ですね。まだまだ忙しい時期は続きますが、それが過ぎれば少しは畑仕事も落ち着きます。これからどんどん寒くなるでしょうが、体調に気をつけて一つ一つ丁寧に仕事していきたいと思います。

